



株式会社ビーアンドピー

2021年10月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード 7804

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

市場環境

- 緊急事態宣言の再発出・延長により新型コロナの影響が続いている。
- ワクチン接種進展での経済活動活性化が期待されるが、先行き不透明な状態。

業績

売上高 **1,907百万円** 営業利益 **185百万円**

3Q時点の業績進捗率は、売上72%、営業利益73%と計画どおり

1Qは、新型コロナの影響のなかった前年同期比で大幅な減収であったものの、
2Q及び3Qは、新型コロナの影響を受けつつも、前年同期比で増収・増益を実現。
3Q累計では、前年同期と同水準を達成、期初計画どおりに進捗。

- 新規事業（DS事業、EC事業）は早期の売上貢献に向け積極的に営業を開始。

株主還元

- 新型コロナウイルス感染症の先行き不透明の中でも業績回復の兆しがあり、株主の皆様への利益還元として**期末配当は、期初予想26円から31円に増額。**

2021年10月期 第3四半期（累計）P/Lサマリー

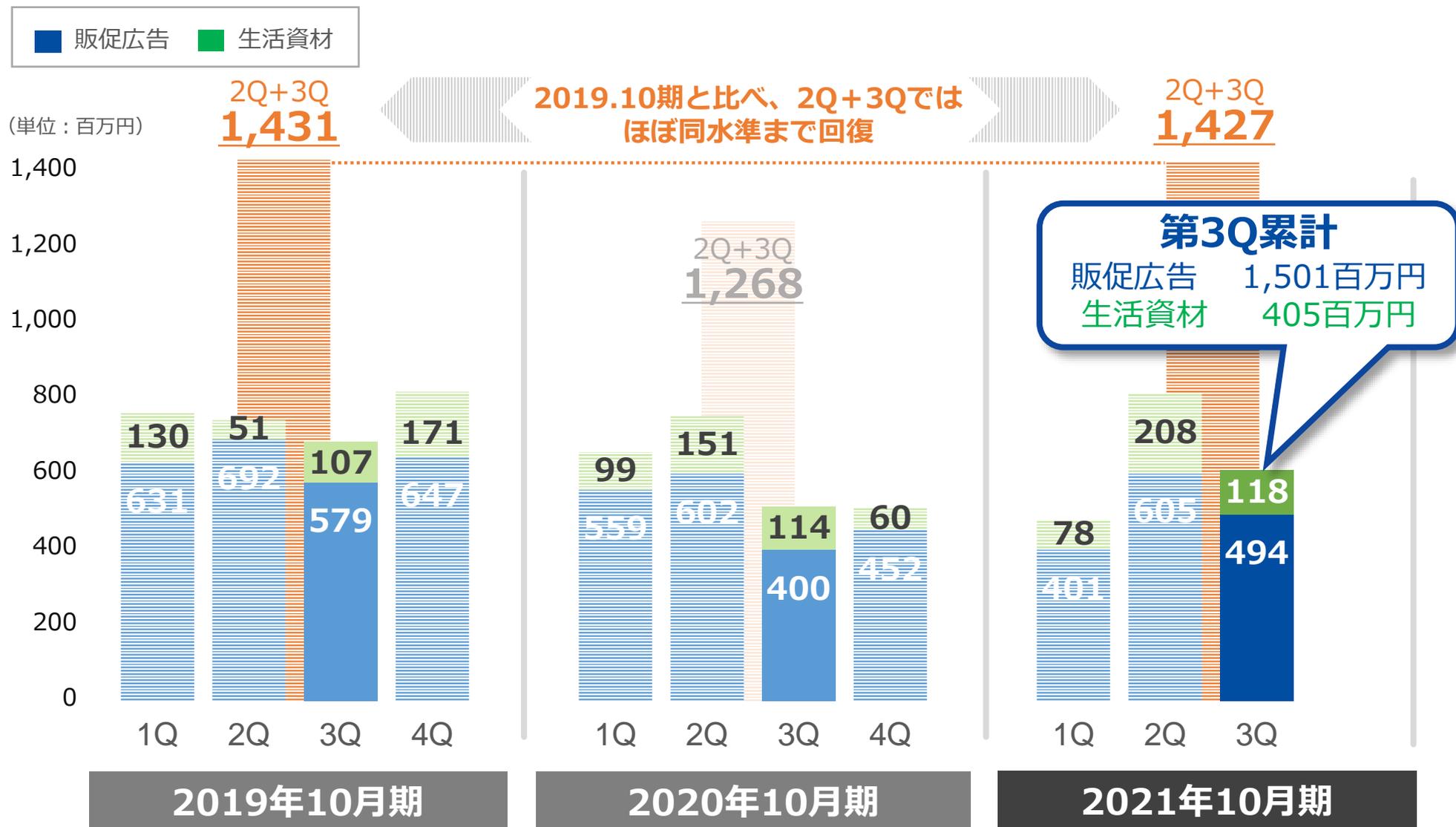


コナ禍においても積極的な営業活動を継続し、売上高、利益ともに計画通りに進捗。引き続き営業力強化、生産効率化を進め、計画達成に向け邁進。

	2020.10 3Q (実績)	2021.10 3Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2021. 10 通期計画	進捗率 (%)
(単位：百万円)					
売上高	1,928	1,907	▲1.1%	2,650	72%
営業利益	185	185	0.4%	256	73%
経常利益	188	193	2.8%	263	74%
当期純利益	128	131	2.2%	179	73%

四半期単位の売上推移

3Qは東京五輪関連案件の受注により、計画通りに進捗。
2Q+3Qにおいては、コロナ禍以前の水準に近い状態まで回復。



業績予想



独自の付加価値サービスを追求し本格的な事業拡大に向けての
基盤づくりを行うことにより前期比で増収増益を計画。

(単位：百万円)	2020年10月期 (実績)	2021年10月期 (予想)	増減率 (%)
売上高	2,441	2,650	+8.5%
売上総利益	949	1,076	+13.4%
売上総利益率	38.9%	40.6%	
営業利益	207	256	+23.3%
営業利益率	8.5%	9.7%	
経常利益	211	263	+24.6%
経常利益率	8.7%	10.0%	
当期純利益	140	179	+28.1%

2021年10月期の取り組みと進捗状況



✓ Withコロナ・Postコロナにおいて

「新商材」の提案
「コスト削減」の取り組み

前進

リアルとデジタルを組み合わせた商品の提案
生産効率化による低コスト体質定着

- 生産のオートメーション化を推進するためのソフトウェアを投入し生産効率を向上

✓ 経済活動の回復局面において

「独自の付加価値サービス」を
追求し、事業基盤を拡大

積極化

重点強化地域の新規活動強化

- 首都圏エリアの事業体制の整理統合により営業力強化、生産能力を向上

✓ 新しい手法への積極的な取り組み

既存ビジネスの着実な拡大と
新しい市場の開拓を図る

進展

リアルとデジタルの融合させたビジネスモデルへの挑戦

- インテリア市場向けのデジタルサイネージを展開
- EC領域での販促提案・サポートを行うインターネット通販サポート事業を開始

東京本社の移転・横浜ファクトリー増強を実施。

首都圏エリアでの営業機能強化、生産体制の効率化を行い、
事業拡大、収益性向上を図ります。

新・東京本社



営業機能強化

顧客アクセス力の高い東京都中央区に東京本社を移転。ショールームでは最新のデジタルサインージ機器をご覧いただけます。



横浜ファクトリー



生産体制効率化

生産フロアを増床したうえで首都圏エリアの制作部門を横浜へ集約。国内最大規模の生産体制で生産強化を図ります。



東京本社・横浜ファクトリーについて、特設Webサイトにて紹介しております。 <https://www.bandp.co.jp/special/>

「リアル」と「デジタル」を融合させた ビジネスモデルへの転換にチャレンジし、 さらなる成長を目指します



「リアル領域」 × 「デジタル領域」

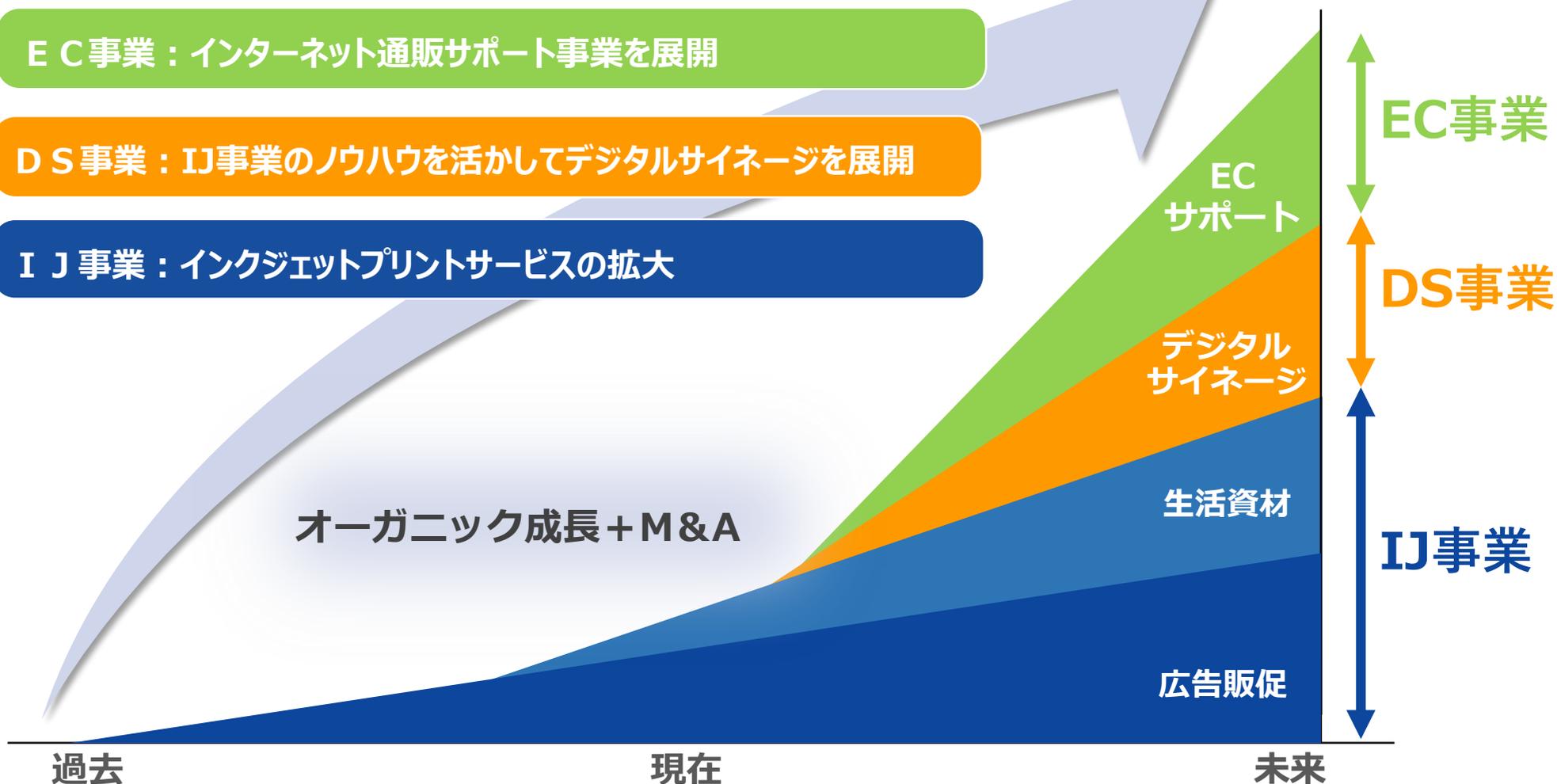
リアルとデジタルの両領域で幅広いサービスを展開していく

EC事業：インターネット通販サポート事業を展開

DS事業：IJ事業のノウハウを活かしてデジタルサイネージを展開

IJ事業：インクジェットプリントサービスの拡大

オーガニック成長 + M&A



成長基盤を一層強化できる企業とのM&A

コア事業の強化を軸に、成長加速できる企業とのM&Aを行います。

M&Aに関する基本戦略

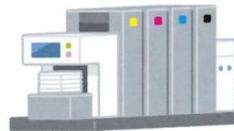


顧客基盤の 拡大



営業地域や
顧客層の拡大を図る

生産能力の 拡大



超量産ロットの
受注体制の構築

エリア販路の 拡大



エリアを広げ
販路を拡大していく

付加価値ビジネス への進出



新たに付加価値がある
ビジネスに進出する

株主への利益還元は経営上の重要施策であり 適切な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持継続

新型コロナウイルス感染症の先行き不透明の中でも業績回復の兆しがあり
株主の皆様へ誠意をもって利益を還元するために

前期比9円の増配を予定

	2020.10月期	2021.10月期	
期末配当金	実績	前回予想 2020年12月9日発表	今回修正予想 2021年9月1日発表
	22円	26円	31円

參考資料

事業概要



企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作
屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務
デジタルサイネージソリューションの提案業務
インターネット通販サポート事業

代表者 代表取締役社長 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8千6百万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

従業員数 正社員：179名（2021年7月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

「東西大都市」で「営業・連携生産体制」保有

大阪本店 (大阪市)

デジタルサイネージショールーム併設



東京本社 (東京都中央区)

デジタルサイネージショールーム併設



福岡営業所 (福岡市)



名古屋営業所 (名古屋市)

横浜ファクトリー (横浜市)



**全国都心部の拠点に生産設備を配置。
24時間生産体制で短納期を実現しています。**



充実の設備で最適な商品を提案



100台以上の生産機械によって 多種多様なサインディスプレイ製品を制作

Mimaki 3DUJ-553

フルカラーUV効果インク
ジェット3Dプリンタ



EPSON P20050

水性インク出力機



Mimaki JFX500

フラットベッドUVインク出力機



HP LX360

ラテックスインク出力機



EPSON S80650

溶剤インク出力機



FOTOPA XLD

カッティングマシン
(ロール・シート印刷物対応)



EFI Vutek 5r

スーパーワイドUVインク出力機



UJV55-320

ワイドUVインク出力機



Kongsbelg XP

超高速マルチカッティングマシン



他にも、Mimaki UJV500 (UV機)、
Mimaki JV300 (溶剤機)等、
合計80台の出力機を保有しています。

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社ビーアンドピー 経営管理部

Email: ir_bp@bandp.co.jp

<https://www.bandp.co.jp/ir/>